關大

発行所
関西大学校友会
〒564 吹田市山手町3-3-35
発行人　金田雅一
電話 06(388)1121 代表
FAX 06(380)8476
振替口座大阪3―55594番

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

第57回 定例代議員会開く

活発な論議かわす

事業計画・予算案を承認

校友会の第五十七回定例代議員会（畑下辰典議長）が、三月二十一日午後一時半から関西大学千里山キャンパスの一〇〇周年記念会館ホールで、約三百六十人の代議員が出席して開かれ、平成四年度事業計画書と同収支予算書を審議、いずれも満場一致で承認された。これにより、校友会の二大イベントである校友総会は十月十八日（日曜）、全国組織代表者会議は九月五日（土曜）、いずれも関西大学一〇〇周年記念会館での開催が決まった。

（四年度の収支予算書は次号に掲載）

関西大学校友会
第57回定例代議員会

定例代議員会で挨拶する植垣会長

小雨がぱらつくあいにくの空模様ではあったが、来賓に稲野治兵衛理事長、大西昭男学長、校友の国会議員らを迎え、代議員も千葉、東京、石川、愛知、岡山、広島、香川各都県など遠来組をはじめ、開会直前には用意された席はいっぱい。

徳山喜昭副会長の開会挨拶のあと学歌を斉唱。来賓の紹介に続いて植垣幸雄会長が「四年度は、評議員の任期満了に伴い、校友評議員候補者百人を推薦する重要な課題がある。さらに四年に一度の校友名簿の発行という大きな事業に取り組む。これらを含め、みなさんのご理解をいただく事業計画を立てている。校友会活動が誤りなく、無事に展開出来ますよう、慎重なご審議の上、ご承認いただけるようお願いします」と、挨拶した。

稲野理事長、大西学長から着実に進展している高槻キャンパスの新学部構想、千里山キャンパスで計画されている体育館建設をはじめ大きなプロジェクトなどについて近況説明があり、議事に入った。

畑下議長と津川正幸副議長が登壇、まず四年度事業計画書について執行部の担当部長から提案理由の説明があり、原案通り拍手で承認、可決。

続いて四年度収支予算書の審議に移った。前回の代議員会で意見が出た役員の選任方法について、再度質問があり、植垣会長は「前回、選挙による方法をとらないのは、先輩たちの体験を踏まえ、生活の知恵として今日の慣行となったとご説明した。次の代議員会での評議員推薦について、どのような方法をとるか、出来る限り公正な人が選ばれるよう検討したい」と、答弁。さらに「二十一世紀に向けて校友もどんどん増えていく中で、選考方法にも修正を加えていくような前向きな検討を望みたい」など、関連の意見も出た。

また天六学舎の千里山移転計画の具体的な内容説明を求める声や、校友名簿作成に関し卒業年次別のつくり方は出来ないかなど、これまでにないほど活発な論議がかわされた末、収支予算書も異議なく可決された。

和田栄重副会長が結びの言葉を述べ、午後四時前、閉会した。この後、同じ会館ホールで有志による懇親パーティーが開かれ、あちこちで「久しぶり、元気そうで何より」と、懐かしむ声が上がった。最後は、円陣をつくり、逍遥歌を元気に歌って散会した。

校友総会10月18日

4年ごとの名簿を発行

平成四年度は、法人役員の任期満了にともなう校友評議員候補者の推薦ならびに全校友収載の校友名簿の発行という、校友会にとって四年に一回取り組む重要な事業を遂行すべき年に当たっている。また、「機関紙関大の発行」をはじめ「組織活動の推進」「財政基盤の確立と整備」等は、校友会運営の根幹をなす重要施策である。

二十四万関大校友の同窓意識の発揚を図るとともに、広く校友の理解の下に会務が円滑に進められるよう万全を期したい。

これらを背景として、本年度の主要な事業計画を次のとおり策定した。

事業計画の内容

一　校友総会の開催

本年度校友総会は、十月十八日の日曜日に母校千里山キャンパス「関西大学一〇〇周年記念会館」で開催する。

総会構想も新しい角度から「卒業年次・学部の枠を超えて、校友なら誰でも、会費が不要で自由に参加し、秋の一日を母校に集う」という発想で、昨年踏み切った。本年度はその実績を踏まえ、「全員参加の校友の祭典」を期して、楽しく参加できる総会を企画する。

二　スプリングフェスティバルの開催

校友会の秋の祭典が「校友総会」とすれば、春の祭典が「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」と、その意義が校友に浸透しつつあり、校友をはじめ恩師・教職員らの家族も含めた関大ファミリーの楽しい催しとして、校友会組織、ゼミOB会、クラブOB・現役交歓会なども年々活発に開催されるようになってきた。

第七回目を迎える本年度も大学の全面的協力を得て、四月五日の日曜日に母校千里山キャンパスで開催する。

三　校友評議員候補者の推薦

学校法人関西大学評議員の任期が本年九月末に到来する。校友会は、法人の寄付行為第二〇条四の評議員を選任するため、学校法人関西大学評議員選任規則施行細則第四条二項により、校友評議員候補者五十名以上百名以内について推薦を行うよう定められている。したがって、指定の期日にそって順次推薦のための選考作業が進められることになる。

母校の経営に参画する任務の重大性に鑑み、新しい時代に向けて即応した経営感覚を持つ、母校愛に富んだ候補者の人選が得られるよう、特別委員会を設置して鋭意作業を推進する。

四　平成四年版「校友名簿」発行と名簿事務の推進

本年は、四年目ごとに発行する全校友収載の校友名簿を発行すべき年に当たる。情報化時代に向けて校友のデータの整備が、校友の社会的活躍度を知り、ひいては母校の声価を問う大きな要因となっている。

幸い本学では、他大学に先立ち、いち早く機関紙の発行と、その購読校友の拡大に取り組んでおり、多年の実績によって校友の住所の把握と消息について比較的精度の高いデータが管理されつつある。各組織の名簿等を参照して、連絡不能の解消に努力し、年度内刊行を目途に特別委員会を設置して業務を推進し、更に内容の充実した名簿の作成につとめる。

五　新聞「関大」の発行

昭和三十年の創刊以来、年十一回の発行を続けてきた「関大」は卒業生を対象にした新聞として全国の主要大学の中、類のない歴史と内容を誇っている。母校と校友、校友同士の数少ない架け橋として、大切な役割を果たしてきており、今後もその責務を担い続けなければならない。

「全国の校友に、より親しまれる新聞」を目指しつつ、幅広い校友の紙上参加を図り校友会組織の充実、ひいては母校の発展につながる紙面づくりに更につとめたい。この一年間に、第四一八号から四二八号まで十一回、毎月平均九九、〇〇〇部を発行する。

六　組織活動の推進

母校創立一〇〇周年に当たる昭和六十一年を機に、全国的に組織活動は活性化され、各地で競って熱心な支部活動が展開されている。組織活動の推進は、校友会活動の重要な課題であり、根気強く組織の促進、強化の諸事業と取り組み、校友会として基盤の拡大と充実に向けて邁進する。

その一助として、組織活動を促進するため必要なデータである「在住校友リスト」「宛名シール」を資料提供し、便宜をはかっていく。なお、本年度の全国組織代表者会議は、九月五日の土曜日、「関西大学一〇〇周年記念会館」で開催する。

七　事業活動の推進

校友の教養に資する催しとして、昭和四十五年以来継続実施している見学会の開催、支部相互の交流と親睦を図る催しとして、一〇〇周年を機に生まれた支部対抗親睦ゴルフ大会の開催など、定着した継続事業を実施する。

また、特別海外研修として第六次訪韓団を編成し、五月のゴールデンウィークを機会に「韓国同窓との交歓と史跡見学の旅」を実施し、韓国同窓との交流を図りたい。在学生に対しては、諸活動の振興のため積極的に協力していきたい。

八　校友カードの推進

平成二年九月にスタートした「関西大学校友カード」は新規事業として順調な成果を挙げて、現在約一五、〇〇〇名の入会者を確保している。

本年度も、「関西大学校友カード」の更なる普及をはじめ、カード付加価値の向上、カードの実際活用等の課題と取り組み、校友の正確な住所の把握と校友の友好の絆を深めるようつとめたい。

九　財政基盤の確立と整備

会費収入という限られた財源で運営されている校友会財政は、卒業生の自然増、送料の値上げ等が起因して新聞郵送料が全体予算の四割を占めるなど財政の硬直化を来し財政の健全化が年を追って深刻な問題となっている。

こうした経緯を踏まえ、その打開策の一環として平成二年度「会費の改訂」「校友カードの導入」に踏み切った結果、校友の多大の協力を得て、当面の見通しを立てることができた。本年度は、この路線にそって更に財政基盤の安定強化を図るとともに、より円滑で効率的な財政運営ができるようつとめていきたい。

十　会員の慶弔

会員の親睦・交流は大きな事業目的であり、情報の入手につとめ、慶意、弔意、激励、その他の意を表し、親和の実を挙げていきたい。

十一　教育後援会との連絡提携

教育後援会は、在学生の教育指導に関し、大学と家庭との連絡機関であり、毎年一回大学で開く総会には七、〇〇〇名に及ぶ父母が出席。また毎年夏に行われる教育懇談会は、全国の都市で盛大に開催され、他大学には見られない特色である。

校友会では、これら諸行事に会長ほか役員が出席するなど、大学当局ならびに父母と校友会との交流をはかり、ともに連絡提携して母校の発展に寄与することにつとめたい。

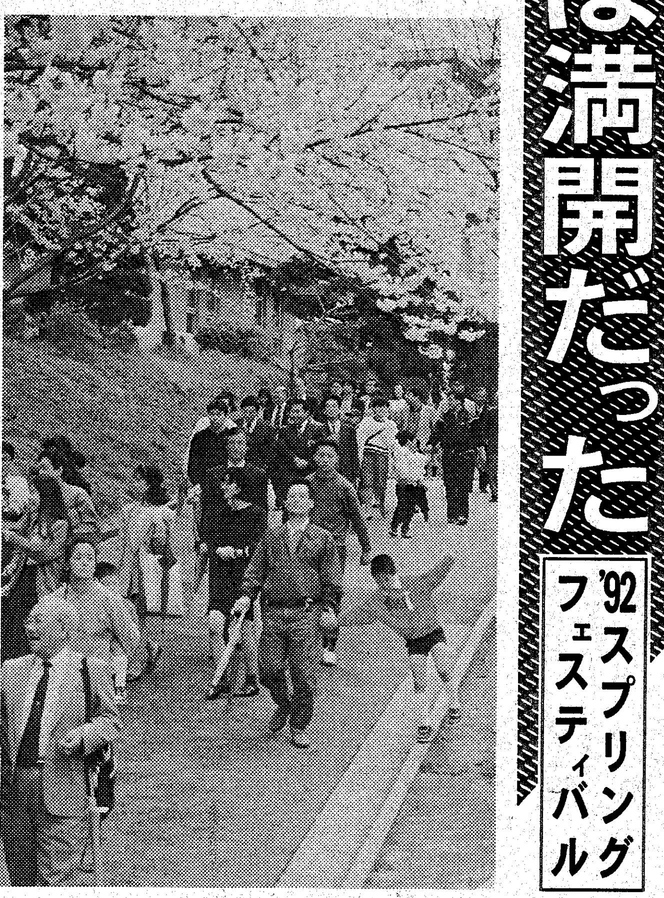
春の祭典は満開だった

花も満開

'92スプリングフェスティバル

春の祭典は満開だった――七回目を迎えた「'92スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」は、四月五日の日曜日、関西大学千里山キャンパスで開かれた。各地から家族連れの卒業生ら約三千五百人が、久しぶりに母校の地を踏み、さわやかな空気を胸いっぱいに吸いこみながら散策、図書館の偉容やグラウンドの様変わりに驚きの声を発していた。また、この日を機に校友会各組織をはじめ、ゼミOB会、クラブOB会など三十一団体が、大学側の全面協力を得て教室などを利用、総会や懇親会を開き、この日ばかりは、みんな〝学生〟にタイムスリップ。〝若さ〟を発散させていた。

（2面に関連記事掲載）



満開のサクラを楽しみながら散策する校友たち

各地から校友集う

菜種梅雨吹っ飛ばす

意地悪の菜種梅雨は、センバツ高校野球をいじめるだけでは気がすまないのか、校友会のメーン・イベントの一つ、スプリングフェスティバルも昨年に続き、今年も朝方、雨が残り、開催関係者は、早朝から空とにらめっこで、イライラやきもき。それでも開会の午前十時前から降り出した雨の中、校友たちはぞくぞくと集まり、図書館前の受付テントで署名簿にサインをし、プログラムやキャンパスマップの資料をもらって、学内の各施設見学へ。

受付テントには、本部役員や事務局員が、間断なく訪れる校友の応対に追われっぱなし。正午前には、雨もすっかり上がり、阪急千里山線「関大前駅」から大学正門まで、三々五々坂を上ってくる校友たちの数はふえる一方。

キャンパス全体に校友たちがあふれた午後一時、倉永総務部副部長の司会で第一グラウンドで歓迎セレモニーが始まった。今年、特に目立ったのは、妻や子供たちを伴ったOBたち、中には孫を連れた老校友も。女性の姿も多く、スタンドは華やかな雰囲気に包まれた。植垣校友会長が「年に一度、満開の桜をめでながら存分に楽しんで下さい」と挨拶。稲野理事長、大西学長からも、学校の近況について報告があった。このころ、ようやく待ち望んでいた日差しがグラウンドとスタンドにふりそそぎ、ようやく春の祭典らしくなった。グラウンドに展開する応援団のリーダー部、吹奏楽部、バトントワーリング部の力強く、華麗な演舞や演奏に惜しみない拍手がおくられた。

また、スタンドの一隅に陣取った留学生を代表してベルギーのドミニック君が、はっきりした日本語で「大変明るい環境で日本語を勉強するのは素晴らしい」と、挨拶。植垣会長から記念品が贈られた。最後に全員が立ち上がって肩を組み、逍遥歌を合唱、〝関大ファミリー〟の歌声がこだました。

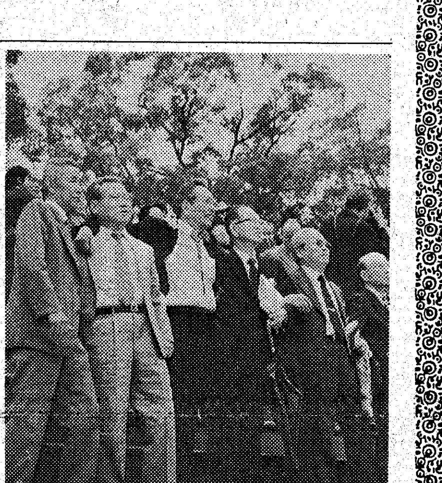
一方、総合図書館では、萬葉集の伝本、注釈書、研究書等を系統的に陳列した「流伝の萬葉集」展が開かれ、一点一点を丹念に見入る熱心な見学者が続いた。考古学等資料室でも、高松塚古墳発掘二十周年を記念して特別展示があり、ここでも見学者が、たえまなく訪れた。

恒例になった茶道部現役学生協力の「野点」も、天候のせいで、大学院前芝生から法文学舎コンコースに変更したものの、大にぎわい。歩き疲れた親子連れらが、床几に腰かけておいしそうに一服。故土田常議員のご遺族の配慮で特製の和菓子をいただいた。

また南端にある一〇〇周年記念会館をぜひ一度と訪れる校友も多く、プールまで備えた見事な建物にしきりに感心。

午後三時、「法文坂」の桜のトンネルをくぐり、正門近くで応援団のお別れの演舞・演奏に立ち止まりつつ、校友たちは名残り惜しそうにキャンパスを後にした。

子供らと受付でサイン



肩を組み元気に逍遥歌を合唱（第一グラウンドで）

名誉教授に10氏

三月三十一日付で定年退職した十人の教授に対し、大学は、在職中の功績をたたえ、「関西大学名誉教授」の称号を贈ることを決め、四月一日午前十一時から関西大学会館で称号授与式を行った。「名誉教授」を贈られたのは次の名氏。

高尾正男（法学部）▽中義勝（同）▽加藤一朗（文学部）▽清水好子（同）▽藤本勝次（同）▽東井正美（経済学部）▽橋本真（社会学部）▽大岩正芳（工学部）▽西岡孝男（同）▽横川親雄（同）

会と催し

▽香川支部総会　四月二十三日（木）午後六時　常磐別館
▽姫路支部総会　四月二十三日（木）午後六時　姫路商工会議所7F会議室
▽二六会第五回総会　四月二十四日（金）午後六時　割烹「八幸」
▽天王寺支部地域職域合同総会　四月二十七日（月）午後七時　フェイセス・月華殿
▽第11回海外研修・韓国同窓と交歓、史跡見学　五月二日（土）～六日（水）　釜山・ソウルなど
▽韓国同窓会慶南支部との合同総会　五月二日（土）午後六時　釜山コモドホテル
▽韓国同窓会本部との合同総会　五月五日（火）午後一時　ソウル牛耳洞グリーンパークホテル
▽枚方支部懇親会　五月十日（日）　三十石船川下りと伏見酒づくり見学
▽第七回常議員会　五月十一日（月）午後六時　パレス二号会議室
▽記念講演会「萬葉集研究一千年」（神堀忍文学部教授）　五月十一日（月）午後一時　関西大学図書館ホール
▽第八回支部対抗親睦ゴルフ大会　五月十三日（水）　オレンジ・シガGC
▽池田銀行関大会　五月十五日（金）午後六時半　伊丹第一ホテル
▽喜楽会総会　五月十五日（金）　千早赤阪村・香楠荘一泊
▽愛知東支部総会　五月十七日（日）午後四時　ホテル白豊
▽都島支部総会　五月二十二日（金）午後六時　大阪リバーサイドホテル
▽第五十八回定例代議員会　五月三十日（土）午後一時半　大阪商工会議所7F国際会議ホール
▽法律相談所三十周年記念式典　五月三十日（土）午後五時半　堂ビル9階清交社

矢野文雄氏逝く

校友会参与

日本拳法育成に尽力

法人評議員、校友会参与、元体育OB会会長の矢野文雄（やの・ふみお）氏は、四月十三日午前七時二十分、硬膜下血腫のため大阪市東淀川区の自宅で死去。八十二歳。

矢野氏は、明治四十三年徳島県生まれ。昭和九年関西大学法学部を卒業、現在、ヤノシゲ㈱取締役社長。一方、関大で生まれた日本拳法の育成に尽力され、日本拳法会会長として後進の指導に当たられた。

法人では、昭和二十七年以来十期四十年評議員をつとめ、その間、二十七年から常務監事二期、三十五年から理事一期を歴任。校友会では三十三年から東淀川支部長。本部常議員を経て四十二年以降校友会参与、その間、五十四年には代議員会議長に選任され、大学・校友会の発展に尽くされた。

（次号に関連記事掲載）

葦の雫

桜花とともに学園に迎えた新しい後輩たち、ひとあし先に学園を後にした学部五、五八二名、大学院二九七名の新しい校友諸氏に遅れ馳せながら祝福の言葉を贈りたい▼それぞれの感懐は各様としても、世上では大学が今まさに大きく問い直されようとしている。S紙は、すでに早くからこの問題をシリーズ「大学を問う」欄で取り上げてきた▼各大学が同じことをしないで、それぞれ特徴を持つべきである（有馬朗人東大総長）、大学の個性化と多様化が大切である（石川忠雄慶大塾長）、大学では基礎研究を重視し、自主性と創造力に富んだ人材を育てる（橋高重義東京理科大理事長）、その人の人生を左右するような教育が求められている（西原春夫前早大総長）、大学は個性的かつ研究参加型の教育を目指すべきである（西沢潤一東北大学長）、基礎教育を重視し、チャレンジ精神を大事にしたい（井村裕夫京大総長）▼一方、母校の大西昭男学長が今春の卒業生に「人間らしく生きよ」として贈ったはなむけの言葉に「協調性」「独創性」がある。偏差値で入学が決まる今日の大学に共通して言えることは「独創性」の欠如であろう。これは、シリーズ「大学を問う」に登場した識者の共通認識でもあり、まさに当を得た言葉である▼大学設置基準の改正は基準内容の大綱化を生み、併せて自己点検と自己評価が義務付けられ、各大学はその対応に追われている▼母校でも当面は大学内部の問題として所作されようが、やがて日ならずしてその結果が後輩たちに及んでくる。二十一世紀を待たずして、日本の将来を託すに相応しい後輩たちの誕生を期待できる喜びを分かち合いたいものである。

内外国
特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木・鮫島国際特許事務所
会長・弁理士　鈴木武夫
所長・弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号　大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三二）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二五―九〇五　Tᴄ IPOL
ファックス　〇六（五三二）七四三五

74年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

校友の絆を深める――
關西大学校友カード
3大ブランドが揃いました。
ご入会申込受付中
ゴルフ場で、専門店でサッと出したときに感じる関大校友の喜び――。校友だけが手にすることのできるこのカードは、校友同士、校友と母校の絆を深める価値あるカードです。
お得な提携優待店もますます充実！
「関西大学校友カード」だけに付けられた割引などの特典―提携優待店もホテル・飲食店・旅行代理店・ゴルフ場・専門店など、ますます充実しています。
発行から1年余、早くも2万人近い校友が「関西大学校友カード」を手にしています。あなたもこの機会に是非ご入会下さい。

JCB
KANSAI UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION
3540 1234 5678 9012
MR. TARO KANDAI
INTERNATIONAL
UC
VISA
MasterCard

関西大学校友カードは大和銀行の本支店でお取り扱いいたします。
「申込書」は
関西大学校友会事務局
または大和銀行本店・各支店
下記のカード会社にございます。
ゴールドカード、法人カードも好評受付中！
お問い合せは
株式会社ジェーシービー
大阪：☎(06)942-2221 東京：☎(03)3294-8111
株式会社大和銀カード
大阪：☎(06)203-9321 東京：☎(03)3571-4621

'92スプリングフェスティバル 親睦の輪広がる

'92スプリングフェスティバルに集まった校友たちの楽しみの一つは、友との再会だ。かつて学んだ懐かしい教室で、関大会館で、一〇〇周年記念会館で、いろんなサークルの「同窓会」が開かれた。嬌声をあげて手をとりあう女性たち、「元気そうじゃないか」と、お互いの健康を喜びあいながら、しっかりと握手する〝戦前卒業組〟の校友たち。回を重ねるにつれ、「スプリングフェスティバルで会おう」の合言葉が生まれてきたようだ。一方、校友会組織の地域支部や各種団体もこの日、親睦の輪を広げる絶好のチャンスとばかり、知恵をしぼった催しを企画した。

女子秀麗会 第15回総会

→総会に集まった女子秀麗会の皆さん

女子秀麗会第15回総会は百周年記念会館第一会議室で稲野理事長、大西学長、植垣校友会長、中村神戸支部幹事長を来賓に迎え盛大に行なわれた。当日は朝から正門前で恒例のバザーも開催され、役員総出で大奮闘、二百余点の全制作品を売り切った。

総会の役員改選で、会長に片山久江（44法）副会長に江本享世（31法）大浜道子（44法）北村英子（44院）会計監査、後藤安子（44法）田中昌子（27法）水島幸子（29文）を選んだ。なお、西村寿美子前副会長は、永年の功績により顧問に推挙された。

第二部の講演では母校小川悟文学部教授の洒脱な「ドイツ、ミュヘン、カフェハウス」に傾聴、第三部の懇親会でも紅一点？の大もてぶり。初参加の寺川真澄さん（49文）をして「こんな愉しい会とは思わなかった」と言わしめるにぎやかさ。女性の集いならではの子連れの飛入り発言に沸いたりした。（山崎 記）

大阪狭山支部が家族ぐるみ観桜

二千数百本の桜が咲き乱れる母校で、今年も恒例の〝スプリングフェスティバル〟が開かれたが、大阪狭山支部（岡田尚明支部長）でも幹事会を兼ね家族観桜会として組織参加した。同狭山支部は、この日のために早くから準備をすすめ四組の夫人同伴者を含む十二人が参加、乗用車三台をつらね母校へと向かった。

用意されていたA二〇二教室で幹事会を開き平成四年度の予算案や三年度の事業報告案などが審議され、また、一〇〇周年記念会館でお茶を飲みながらアミダくじなどをして親睦を深めあっていた。

豊中支部も 桜花愛でる

豊中支部の組織網の確立を終えて、はじめての事業が四月五日午前十一時からの観桜会となった。

夜来の雨も止む頃、なつかしい第2学舎「二〇五教室」に稲野理事長、中野寛成衆議院議員、榎原支部長はじめ支部一同と談笑のひとときを過ごし、野点で一服のあと、グランドでの応援団の熱演に拍手を送り、母校と校友会の発展を祈った。（安永 記）

東洋文学科開設40周年 中国文学科改称24周年 盛大に記念パーティー

四月五日正午から関大会館で開催。本学学長、理事長、教学部長、文学部長、東西学術研究所所長、元専任の方々をはじめご来賓四十人をお迎えし、両学科卒業生約百三十人出席のもと盛会に挙行。来賓の方々より心温まるご祝辞・激励を賜わり、全卒業生「数は力なり」を宗とし、作成された名簿をもとに、今後は各学年の横の連絡を密にすることを誓い、次回の同窓会を楽しみに散会。（西川 記）

懐旧談に弾んだ 関西大学逍遥会

午前十一時半から総会。平成三年度の会計報告及び承認の後、会長榎本茂喜氏挨拶。幹事より、現在の哲学科の状況、学生気質等を簡単に触れた後、歓談。その間、出席者全員の自己紹介を行った。総会及び懇親会はほぼ毎年催してはいるものの、スプリングフェスティバルと重ね合わせての開催は今回が初めての試み。その為か数十年振りに友人やご夫婦連れでご出席下さった方々もあり、なごやかな雰囲気で、母校の変貌ぶりや懐旧の情に話がはずんだ。（井上 記）

二九千里会 昨年上回る

二九千里会は九一年からスプリングフェスティバルに組織として参加させてもらい、本年はより多くの会員や家族の参加を期待し早くから呼びかけてきましたが、午前中雨が残ったためか、参加者は昨年を上回ったものの当初予想の約半数の結果となった。しかし久しぶりに桜花満開の母校で旧友と再会し、学生時代の思い出話や近況報告等で大いに盛り上りました。

午後は歓迎セレモニーの中で大学関係者から大学の現状や将来構想等を聞き力強い母校の発展ぶりに感銘を受けた。（S生 記）

一時間半の懇親 あっという間に

大阪府行政書士秀麗会

大阪府行政書士秀麗会の懇親会が例年の如く経商二〇八号室で開催された。学校が毎年校友の為に開放するこの日を我会の懇親会の日に選んで数年になる。年一回桜花を観賞しながら母校を、学生時代を想うことは有意義と開いている。

定刻通り懇親会が開かれ、高槻校地の進行状況や現役時代の大学祭のこと、また名物教授の消息などが話題となった。約一時間半の懇親時間もすぐすぎ、一時から始まるセレモニーへと向った。（平岡 記）

笑顔一杯で 話題も多く

喜楽会

前日に引続いた菜種梅雨であったが、満開の桜を愛でながら元気の良い会員十三人が経商一号館に与えられたA二二号教室に笑顔一杯で参集した。特に遠路岩国よりはせ参じた萬谷君は目を輝かせて久々の母校の近況を見ながら話題も一幅広いものとなった。毎年一回総会を実施しているが、始めての昼食会でもあったので楽しいミーティングとなった。

昨秋校友会より組織顕彰を受けた模様及び小柳君が描いた天六学舎の油絵（20号）を寄贈出来たこと▽校友会事務局より終身会員に五人の新入会員があった連絡事項について―など報告。

また、来月に迫った本年度総会についての要望等を打合せし、健康維持についても機関紙「関大」を通じて母校の近況を知るなど何時までも若さと健康を大切に良い交りを維持することを誓いあった。

萬谷葆会員のよんだ一句

白髪も予科教室に集ひては
　しばし戻るか青春時代

（橋本 記）

なぎなた部 爽快に練習

桜・桜・桜、満開の桜並木の下で袴姿も凛々しい後輩達の出迎えをうけた。やはり、母校はいいものだ。

朝十一時、道場でなぎなた部の練習開始。八方振り、基礎打ち、次々とメニューがこなされていく。その間、一時間。今日は、卒業生・現役生の親睦を兼ねての合同練習である。久しぶりに後輩達と共に流した汗は、とても爽快。

最後は、現役学生による、「リズムなぎなた」の披露で幕を閉じた。プリンセス・プリンセスの〝セブンイヤーズアフター〟、軽快なリズムにのり躍動する、袴・たすきがけの十六人の若さに圧倒されてしまった。

リズムなぎなたを、みなさんにご覧頂けなかったのが、とても残念。来年の、スプリングフェスティバル、今から待ち遠しく感じる。（岡田 記）

「青春残照」

――五十経会の観桜会記

関西大学五十経会観桜会は十一時頃経商学舎一号館二〇号室に会員が相会した。稲野治兵衛理事長さんが一番乗り。平沢会長、中山一義、亀有正男、佐藤治夫の諸君に関大回顧もだしがたく病身を押して参加の藤井武君、所用で中座した松井清君の七名。

正午、尚志館で会食の後、満開の桜に包まれた第一グランドの応援団の歓迎セレモニーをスタンドから観賞。ひたむきな学生の動作を見て半世紀前の自分達の青春在学時代を重ね合わせ回顧深々。逍遥歌合唱のあと、文化勲章受賞末永博士の心血注いだ学術評価高い考古資料を目のあたりに見て、卒業後の母校特色に「考古学」が加わったことを実感して心強かった。

校祖児島惟謙胸像に深々と一礼して、関大中興の祖、岩崎卯一博士胸像に立ち止まり学徳育の恩義を感謝すれば脚下は関大グランド（現第一グランド）前方にクラブハウス（現保健室）。この二施設は昔のままに位置し、五十四年前の思い出が蘇る。このグランドは同級生のタイガースの最優秀投手を育てたこと、創立五十周年祝賀「大学祭」仮装行列にクラスを代表して出場した故日俣正三君の「看護婦」、それに寄りそう山根（旧松井）康治郎君の「礼装将軍」、私共が招待した女学生を初め、万余の観衆が大喝采を博したことが蘇る。

今、級友と下る坂は、当時は試験苦を表現して「地獄坂」。半世紀後の今日この坂道は「関大桜」の満開風景。地獄坂は今は「真理探究の花道」に変身を目のあたりに見て、「世界の大学」は夢でなく、施設の整備、教学・経営二本柱の努力から見て、現実の「世界の大学の道」を歩んで行くことを私ども校友全体の「青春残照」から冀（こいねが）っていることを記して観桜会記を擱筆（かくひつ）します。（平澤 記）

森田教授囲み歓談

超高周波研同窓会

例年より予想外に参加者が多かった。各自が自己紹介、近況報告を行い、森田正信先生を囲んで一同和やかに歓談した。飯田幸雄助教授の案内で研究室を見学した後、工学部の玄関前で記念撮影、研究室の卒業生名簿をいただいた。

また、当研究室の初期に卒研生のご指導をいただいた大東延久教授（今年度工学会会長）も参加され、会は一層盛り上がった。（石川 記）

にぎやかに 関大一八会

千里山で初の総会

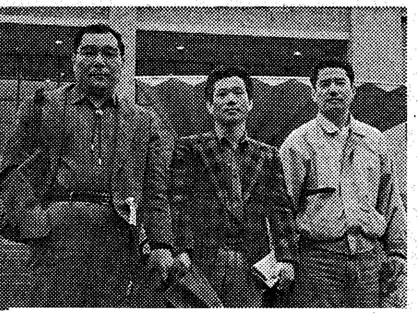
関大一八会（昭和18年専一卒・法経商）三十人は、雨天にもかかわらず、東京、広島をはじめ近畿各地から夫婦同伴、孫、息子夫婦を連れるなど、千里山での始めての総会ににぎやかに参集した。

開会に先立ち今は亡き恩師・学友に黙祷を捧げご冥福を祈った。山本会長の挨拶に続いて自己紹介。全員が持ち時間を超えて〝熱演〟、爆笑、ヤジの連続で同伴の奥さんや孫たちも大笑い。

その後、グラウンドに移り応援団の演舞を見学した。戦前戦中を通じて全国的にも有名だった関大応援団は、昭和十六年四月二十九日に解団式を行い、最後の演舞で団員が涙を流した―など思い出しひそかに涙をぬぐう元応援団員もいた。（中井 記）

スナップ

故久井前理事長のコト夫人


フェリーで駆けつけた愛媛の３人組

スタンドで紹介される留学生ら

＝＝＝＝＝＝ 久井夫人が見学 ＝＝＝＝＝＝

故久井忠雄理事長のコト夫人（八三）が姿を見せ、長女和子さんの案内でゆっくりとキャンパス内を見学した。一つ一つの学舎や施設を丁寧に見て回り、夫の遺業を目の当りにして、さすがに感慨深げだった。

また昨年十月、亡くなった中津武二さん（16専二法）の夫人、喜美子さんも息子さんと一緒に、総合図書館での特別展「流伝の萬葉集」を時間をかけて見学していた。

＝＝＝＝＝＝ 愛媛から3人組 ＝＝＝＝＝＝

愛媛県からフェリーで大阪南港に午前六時に到着、母校へ駆けつけたという東予千里会の校友、本山昭雄さん（40経）、能智孝昭さん（45法）、田坂佳久さん（51社）の三人。

「関大」の記事をみて「よし行こう」と決めた。三人とも翌日が仕事のため、新幹線でトンボ帰りだが、「母校はいいなあ」を連発していた。

＝＝＝＝＝＝ 留学生も上機嫌 ＝＝＝＝＝＝

歓迎セレモニーが行われた第一グラウンドのスタンド中央に陣取った八人の留学生たち。四月から四十三人のフレッシュな仲間を迎え、元気はつらつ。司会者の紹介で、立ち上がって笑顔でこたえると、周囲の校友から励ましの大きな拍手がおくられた。

関西大学電友会OB会

卒業30周年の記念総会

午後二時から経商学舎A二〇六教室で、工学部の今西茂、小沼啓助両教授に、校友会事業部の新美健治副部長も迎え、十人が出席、各自、近況を報告したが、三十年ぶりの再会に感無量。恩師を囲んで話がはずみ、友情も一層深まった。このあと午後五時から、東洋ホテル「北京」で十七人が集まり、祝賀会が開かれた。会長に沢勲、副会長に荒木裕の各氏を選出、今西教授に顧問をお願いした。東京から曽我武宏氏、福井から松田政信氏も駆けつけ、大いに盛り上がった。

各自の近況が披露されたあと、思い出話になったが、実験や卒業研究の話は、とりわけ楽しく尽きることがなかった。（沢 記）

洗練された味と気軽な雰囲気
アミチェとビストロ・アミスター
気持のあるフランス料理のお店
アミチェ心斎橋店
海の幸フランス料理で校友の皆様にご好評いただいております。　下村八郎（39文卒）
ランチ 2,000〜5,000 AM11:00〜PM2:30
ディナー 6,500〜13,000 PM5:00〜PM10:00
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31 ラ・シーンビル6F
心斎橋・大丸本館と別館の周東へ20m右側
06-251-3076　無休
地中海料理とワイン
ビストロ・アミスター淀屋橋店
ランチ 1,200、1,500、2,400
ディナー 2,800、3,500、5,000
京阪淀屋橋改札前 NEX-T-1・2階
06-227-4160

59人集い経済人クラブ例会

関西大学経済人クラブ（西村治三郎会長＝大14専商）第一一五回例会は、三月十七日午後六時から、新阪急ホテル二階星の間に五十九人が集まって開かれた。

今回の例会では、講師にMBSラジオの長寿番組を担当するパーソナリティとして活躍の馬場章夫氏を迎えて、アジア、南太平洋の辺地をかけ回る探検野郎の見聞物語を題材に「地球道中膝栗毛」と題して、春宵の一刻をおもしろ探検話で過し、好評だった。

当クラブでは校友オーナーの集いとして年四回の例会を開き、今後、若手実業人の参加を歓迎し、クラブの陣容の強化を図ることになった。

茨木市長に山本氏当選

他の２候補振り切る

茨木市長選は四月十二日投票、即日開票の結果、新人で校友の山本末男氏（写真、30学二経）＝無所属（自民、社会、公明、民社推薦）＝が、他の二候補を振り切って、初当選した。

山本氏は、市財政課長、総務部長、助役を歴任。校友会茨木支部顧問。

こんにちは 堺支部です

50年契機に新しい出発

堺支部にとって昨年は記念すべき年であった。と言うのも、昭和十六年二月に「会員の親睦を図り併せて母校関西大学の発展に寄与する」志を抱く先輩達により創設され五十周年を迎えたからである。実行委員会による二年越しの計画のもと、二百人が参加した記念式典、「南宗寺」での支部物故会員慰霊祭など催した。また記念会報を発行、堺市在住の校友約六千人に配布した。現在は、編集委員により記念事業を中心にした堺支部五十年のあゆみを記すため、記念誌の発行に向け準備中である。

この一年を顧みて、五十周年記念事業の成功は、役員総出での協力をはじめとし、支部会員からの心あたたまる寄付金による力強い支援、それに母校並びに校友会からのご尽力の賜ものと深く感謝している。

現在支部では、総会以外にゴルフ大会、関関OB対抗戦、一泊懇親会など催しているが最も〝校友の絆〟を深めているのが、四年前から毎月欠かさず催している〝気楽に一杯飲んで話す裸のお付き合い〟月例懇親会「関親会」の存在である。年一回の総会だけでなく、都合がつけば気軽に参加し顔が見れる会である。そこでは、いかなる場所でも必ず学歌・逍遥歌を声高らかに歌う。それを聞いた同窓が顔を出してくれるのを楽しみに…。今後は、もっと多くの同好会が生まれることを期待している。

先輩達が築いた五十年という歴史を大切に、これからの堺支部は、次代を背負っていく若者達の参加を推しすすめ新しい組織づくりを目標に、日頃の支部活動を通じて、真の〝校友の和・絆〟を実現したいと願っている。

最後に、地域支部の皆様宛今年も七月頃支部会報を送る予定である。

＝事務局長　依田充啓

4年ぶり淡路 支部校友交歓

校友会淡路支部（支部長佐野豊元洲本市長＝13専二法）では、三月二十九日の日曜日正午から、新装なった淡路島国際ホテル・アレックスで支部総会を開催。四年ぶりに島内校友が交歓を深めた。

淡路支部は、昭和五十二年十月、厳島神社斎館に、当時樫本会長を迎えて創設総会を開き、現在の島内在住校友は、三五〇人の多きに達した。総会通知も限定して呼びかけた結果、当日は二十二人が参加＝写真、中身の濃い総会として親睦の実を挙げた。

今回の総会には本部から植垣会長、藤本事務局次長が来島し激励いただいたほか、記念講演では、淡路島出身の校友弁護士薄木昌信先生（35法）を煩わし「弁護士よもやま話」と題して土地問題をはじめサラ金、カード等のバブル崩壊にともなう経済情勢の混乱、そして尊厳死に至る今日的問題を、実務法曹人として明快に解説され、非常に有益であった。また懇親会では会員が自己紹介にひとことスピーチを交えて、うちとけた宴となり、午後三時すぎ逍遥歌で一旦区切り、引続いて二次会へと足を運び歓を尽した。なお、喜田二郎氏の副支部長辞任と、後任役員の選任は、役員会一任と決まった。（磯崎 記）

神戸三九会総会

神戸三九会（川崎保会長＝39法）は、三月九日午後六時、東京そば正家本店で第八回総会を開催。参加者は二十三人。樽谷清太郎副会長のユーモア溢れる司会ではじまり会長の挨拶、大屋英則事務長から会務、山下皓二君から会計報告があった。

吉田春彦君の発声で乾杯、参加者からの近況報告に移り、特に療養生活をしていた柴崎隆君の話に深い感動を受けた。樋口東光君の福引ゲームで全員に賞品をプレゼント。最後は肩をくみ逍遥歌を合唱し石山康弘君の発声で三本締め。次回九月三日の再会を楽しみに散会した。（藤原 記）

16人参加 関甲ゴルフ

関甲倶楽部ゴルフ同好会は三月十八日、兵庫県美嚢郡のライオンズCCで、第八回ゴルフコンペを開いた。朝から雨模様だったが十六人が参加し、和気あいあい、一日を愉快にプレーした。

成績は次の通り。敬称略。

優勝＝大原隆一（30期）▽準優勝＝中辻稔（29期）▽三位＝津吉実（28期）▽四位＝松村徹（同）▽五位＝安岡幹雄（同）

盛大に体育 OB会総会

関西大学体育OB会は、三月十四日午後二時から、関西大学一〇〇周年記念会館で、三百余人のOBと六十数人の現役表彰受賞者が集い、平成三年度総会を開催した。冒頭に、昨年急逝された久井忠雄前法人理事長（体育OB会顧問）をはじめ、関係物故者への黙祷を捧げ、総会は田中章博体育OB会理事長の司会で進行した。第一部は「平成三年度体育OB会スポーツ表彰」。

現役表彰では昨年関西学生野球春季リーグ戦で優勝し関西大学の活性化をもたらした野球部、全日本選手権大会で優勝した拳法部など優秀団体賞五団体、敢闘団体賞三団体、優秀選手賞十四人、各部功労賞四十五人がそれぞれ栄誉を讃えられた。

OB等特別表彰では、永年ラグビー部顧問を務められ、その間、学長職にもありながら、現役学生やOB諸氏に熱心に接せられた中義勝法学部前教授（平成三年度で定年退職）をはじめ十九人が受賞された。

第二部総会では第一号議案「役員改選」など全議案が満場一致で承認され、北尾郁之介会長のもとに全OBが所期の目的を果たすために尽力することが誓われた。

第三部懇親会は、当日引き続き開催された「第四回大島鎌吉スポーツ文化賞祝賀会」（4面に関連記事）と並行共催。会の進行をスムーズにするために、体育OB会総会における稲野治兵衛法人理事長、大西昭男学長、植垣幸雄校友会長ほか各界来賓の挨拶等は同祝賀会と一括でお願いすることになった。

三年連続の体育OB会総会と大島鎌吉スポーツ文化賞贈呈式のドッキング開催は、ますます好評となり、回を重ねるごとに、関西大学の名物行事として定着する兆しを見せている。

主な役員は次の各氏。

顧問＝稲野治兵衛理事長▽名誉会長＝大西昭男学長▽会長＝北尾郁之介（23経、アメリカンフットボール）▽副会長＝宇賀大三郎（32商、レスリング）、河合光熙（28政、ラグビー）、福本昌三（28経、ボクシング）、寳田重幸（34法、体育会本部）、山本新吾（28経、水上競技）▽理事長＝田中章博（34経、拳法）▽副理事長＝小西逸平（38新、アイススケート）、三澤恒次郎（39商、柔道）

人事

（新・旧・氏名・卒年学部の順）

▽兵庫県庁（4月1日付）

部次長級以上＝教育長（審議監企画部長事務取扱）芦田弘逸（33法）▽知事公室長（東播磨県民局長）遠藤敦雅（37法）▽企画部長（生活文化部長）北村信二郎（33法）▽参事・但馬理想の都の祭典実行委員会事務総長（商工部次長）大石治男（36法）▽兵庫県民サービスセンター参事兼自治研修所長・人事管理監察委員（総務部次長）藤和重喜（33法）▽兵庫県民サービスセンター参事兼県立労働経済研究所長（人事委員会事務局長）塚本勝保（33法）▽企画部次長（農林水産部総務課長）石田隆（36経）▽労働部次長（商工部総務課長）赤松達夫（39経）▽西播磨県民局次長（人事委員会事務局総務課長）小林善秀（38経）▽北摂整備局次長兼総務部長・人事管理員（商工部新産業観光課長）土出嘉郎（36経）▽生活文化部参事・兵庫現代芸術劇場出向（生活文化部芸術文化課参事）満浦謙之（37法）▽阪神県民局参事兼尼崎財務事務所長（但馬県民局参事兼豊岡財務事務所長）横山隆（37法）▽西播磨県民局参事兼姫路短期大学事務局長（総務部職員課長）藤原信英（40法）▽議会事務局次長兼総務課長（議会事務局総務課長）岸本幸平（36法）

▽神戸市役所

部長級以上＝環境局参事（中央区振興課長）村上正明（36経）▽土木局参事（土木局主幹）小林庄一（36経）▽企画調整局企画部長（住宅局参事）矢田立郎（46法）▽衛生局病院経営管理部長（企画調整局参事）広瀬光八（39経）▽東灘区副区長（経済局中央卸売市場西部市場長）大角喜一（37法）▽消防局警防部長（消防局予防部長）吉宗駒郎（32法）▽交通局自動車部長（交通局参事）増田竹二郎（32法）

▽大阪府庁

部長級＝理事・財団法人21世紀協会常務理事（理事）高田常三郎（35法）▽人事委員会事務局長（企画調整部同和対策室長）今堀富三（35法）▽同和対策室長（環境保健部次長）中尾善一（36法）▽副出納長（理事）熊木利隆（34法）▽成人病C事務局長（知事公室次長）松本進一（37法）▽大阪女子大事務局長（議会事務局次長）沖田正幸（34経）▽東大阪市助役（府民情報室長）片岡健彦（39法）

次長級＝知事公室次長（建築部参事）漆原八十一（39法）▽環境保健部次長（教育委員会事務局参事）白水康雄（平3法）▽企業局次長（土木部参事）永井昇平（38法）▽水道部次長（商工部参事）中山重光（40経）▽議会事務局次長（土木部用地室長）髙橋桂（37経）▽府民情報室長（府民情報室総括参事）原田幹夫（40法）▽流通対策室長（環境保健部環境局環境整備課長）倉内喜由（40経）▽総合調整参事（収用委員会事務局次長）藤田實（34商）▽参事兼人事課長（総務部人事課長）小坂裕次郎（43法）▽南府税事務所長（淀川府税事務所長）邨田幸雄（34文）▽夕陽丘図書館副館長（府民情報室総括参事）杉井斉（33法）

▽大阪市役所

局長級＝市民局理事（民生局福祉部長）荒木久友（38法）

部長級＝都島区長（福島区長）後藤昌弘（43法）▽福島区長（経済局中小企業部長）中山広泰（36法）▽東住吉区長（花と緑の推進本部副理事）吉野文秀（40修公）▽水道局業務部長（西区長）駒田喜信（36法）▽消防局予防課長（市民局安全対策課長）森田武（36法）▽市長室副理事（港湾局副理事）内田英昭（38法）▽計画局副理事（港湾局副理事）中村孝治（38法）▽経済局副理事（中央卸売市場庶務課長）右谷新次（41法）▽同（環境保健局庶務課長）東尾隆志（42法）▽都市整備局副理事（民生局副理事）宇都宮公彦（36法）

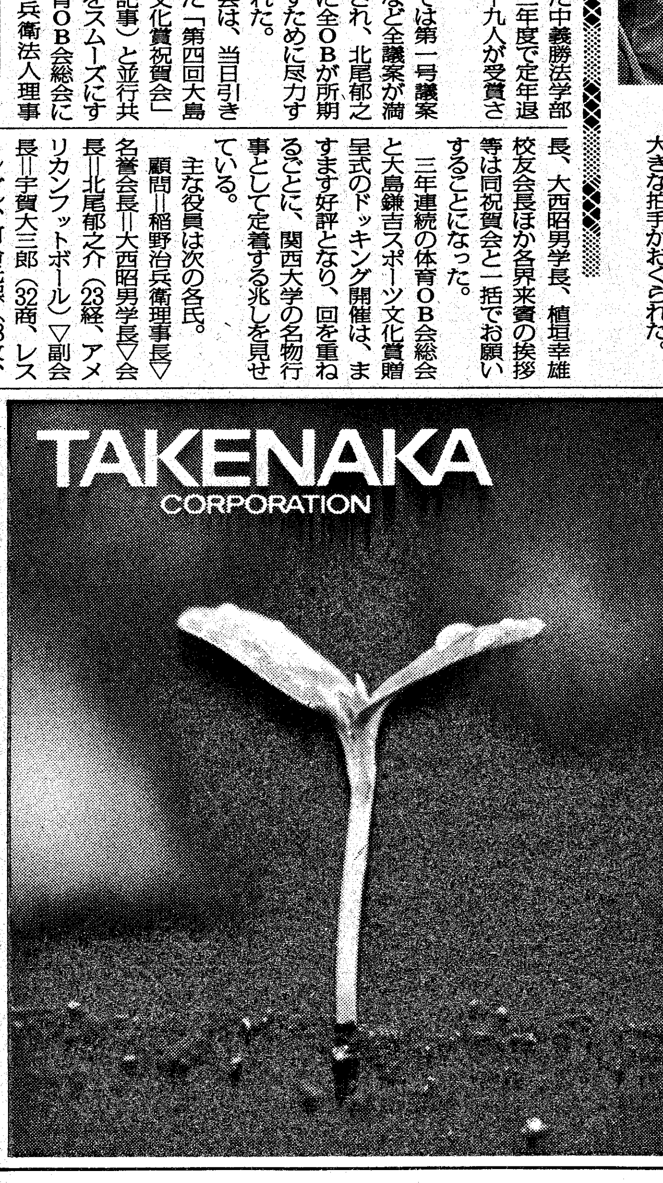
▽京都市役所

局長級＝市民局同和対策室長（教育委員会事務局総務部長）中村誠伺（41法）

部長級＝北消防署長（南消防署長）竹田安吉（34経）▽校長＝市立深草小学校長（百々小学校教頭）清水邦彦（44新）

素朴な海辺の旅情――
丹後　久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行、クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
―推薦　前法学部教授・拳法部顧問　堀　堅士先生―
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬〜3月下旬）
カキ料理（11月中旬〜3月下旬）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
小天橋温泉（展望風呂完成）
山陰海岸国立公園　旅館　小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎（07728）3―0371（代）
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

Graph Media
人間環境情報グラフメディア
印刷新時代をリードする
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目　☎(06)567―2111(大代表)　〒556
東京本社：東京都品川区南品川6丁目　☎(03)450―2111(大代表)　〒140



TAKENAKA CORPORATION
地球に、学ぶ。
21世紀の私たちの環境を考えるとき、そのキーワードとなるのは“地球”です。建築の企画・設計分野でも、今、地球規模の広い視野が求められています。生態系（エコシステム）の研究をふまえた企画、そして自然の偉大な造形力から発想する設計…環境の再生と創造をめざして、竹中工務店は地球に学び、着々とその成果を上げています。
竹中工務店
〒541 大阪市中央区本町4丁目1-13 TEL06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1 TEL03(3542)7100

非鉄金属販売
保井金属株式会社
取締役社長　保井剛一
本社　大阪市中央区松屋町六―一三
電話　〇六（762）五四二一（代）
FAX　〇六（762）八一四六
東京出張所　東京都千代田区内神田一丁目八ノ二（東京保井ビル）
電話　〇三（293）七二〇二（294）六七七六

上方漫才大賞

新人賞に校友の犬丸さん

弟とコンビ「犬丸兄弟」

前途有望な実力派

学園祭で受けて決心

「漫才の新人賞をもらった校友がいる」——最近、校友の間で話題になり始めたのは犬丸徹三さん(27)＝昭63学二法、門真市千石西町14—65—410。松竹芸能所属で、弟とコンビを組んで売り出し、この一年間、新人賞と名のつく賞を総ナメにした実力派。「ここまでこれたのも〝関大〟のお蔭です」と、校友の輪の力を肌に感じた驚きを素直に口にした。

熱演する犬丸兄弟（左が徹三さん）

年間を通して最も活躍した漫才コンビに贈られる第二十七回「上方漫才大賞」（ラジオ大阪制定）の受賞式が、四月十三日午後六時から桜橋・サンケイホールであり、犬丸さんは弟の裕次郎さん（二五）と、新人賞を受賞した。

犬丸兄弟（芸名）は、これより先、昨年の二月十六日に第二十一回NHK「上方漫才コンテスト」で最優秀新人賞を獲得。今年に入って一月十五日、ABCの第十四回「お笑い新人グランプリ」の優秀新人賞に輝いていた。これらの賞は、大先輩の「巨人・阪神」、「紳助・竜助」らも手にし、今日の隆盛につながる大切な最初の関門だった。

徹三さんは「一年間を通しての芸が認められただけに、とりわけ嬉しい」と、賞の中でも〝格上〟の上方漫才大賞新人賞の受賞式では、喜びを身体いっぱいに表していた。

大学時代、落語研究部などには属さなかったが、学園祭で友だちとシャレで漫才をやったところが、予想外に受けた。それ以後、お笑い＝漫才が頭から離れなくなり、卒業後もなんとか漫才の世界に入れる方法はないものかと、昼夜なく運送業などのアルバイトをしながら悩み続けた。

そうした折、平成元年八月、アルバイト関係で知り合った関大の先輩が、「それなら」と紹介してくれたのが、松竹芸能の大谷幸一さん（昭45学一商）だった。恐る恐る面会すると、見所ありと判断され、門戸を開いてくれた。関大の絆を強く感じた。相方はデザイン学校を卒業したばかりの弟（裕次郎さん）と決めていた。二人でオーディションを受け、養成所に入り、着実に階段を上っていった。

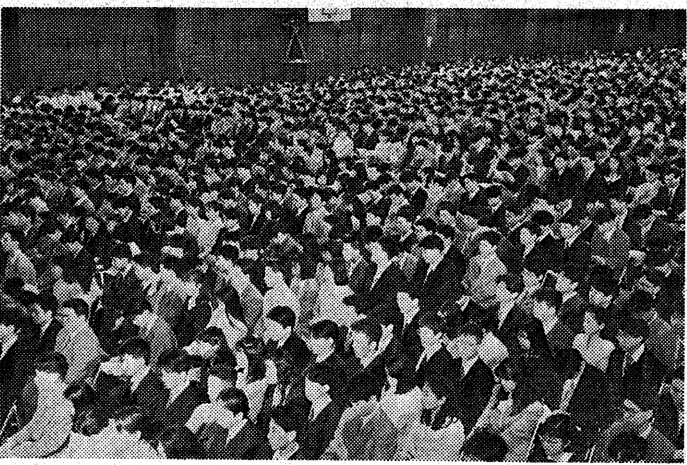
兄弟で、漫才界の大御所、夢路いとし・喜味こいしさんからも最近、アドバイスを受けて感激、またあの香川登枝緒さんからは「兄弟漫才は大阪の文化や。頑張りなさい」と励まされた。大先輩の桂三枝さんには「仕事で、お会いしたことはあるが、後輩ですなど個人的なことは怖くていえない」。

徹三さんが「突っ込み」で、裕次郎さんが「ぼけ」。「何年かかっても、上方漫才大賞はどうしてもとりたい」と、眼鏡の奥の目をキラキラさせて、きっぱり。

楽屋でくつろぐ犬丸兄弟（4月13日、サンケイホールで）

志を存分に伸ばせ

入学式　大西学長が強調



体育館を埋め尽した入学生ら

平成三年度の学部入学式は四月三日、一部法、商、工の三学部が午前十時、文、経、社会の三学部が午後一時から千里山学舎体育館本館で、二部の法、文、経済、商、社会の全学部が午後六時から天六学舎三一二教室で行われた。

それぞれの式場には、希望に胸ふくらませた新入生と父母らでいっぱい。十時からの法、商、工学部の式では、入り切れない父母たちは控室に設置されたテレビでわが子の晴れ姿をくい入るように見つめていた。大西学長は「みなさんの志を自由に存分に伸ばせる大学です。安易に流されずに胸の中の志という光に照らして、書を開き、友をつくり、良き師をみつけ、自らの手で世界をつくっていって下さい」と、熱情こもる式辞を述べた。

体育館前では、応援団が学歌などを演奏・演舞して、新入生を歓迎。また体育会、文化会など各部は、新入部員を獲得するため、声を張り上げて勧誘ビラを渡していた。

今年度の新入生は、一部が五、七〇六人（法七〇四、文八三七、経一、〇七七、商八八七、社七七九、工一、四二二）、二部が三八〇人（法一二三、文三八、経一一九、商五四、社四六）の計六、〇八六人。このうち女子は一、三八八人。

また、留学生は四三人で、中国の一八人を最高に韓国一二人、香港五人のほかマレーシア、インドネシア、カナダなど。

大学院入学式

大学院の入学式は、四月六日午前十時から関西大学一〇〇周年記念会館ホールで開かれ、博士課程前期課程に三一〇人（うち女子三五人）、同後期課程三七人（同一二人）が入学した。

大西学長は「どの分野の何をやるかを全員が見据えていると確信したい。自らの研鑽で新しい学問が始まるのだの心意気を」と、励ました。

感慨胸に卒業

平成三年度の学部卒業式が三月十九日、一部は千里山、二部は天六の学舎であり、五、五八二人の新しい学士が卒業証書をしっかり手にし、それぞれの感慨を胸に四年間親しんだキャンパスに別れを告げた。

学歌を歌う卒業生たちも感慨深そう

一部は千里山学舎の体育館本館で、文、経済、社会の三学部は午前十時から、法、商、工の学部は午後一時から、また二部は天六学舎三一二教室で午後六時から始まり、式場は、卒業生、教職員、父母らで満員。

文、経済、社会学部の式は、それぞれの学部総代が大西学長から卒業証書を手渡されたあと、大西学長は「諸君が出ていく社会は、今とても厳しいが、関大で学んだことを誇りにし、人間らしく生きてほしい。受け身でなく、世界を変えるような大きな志を持って」と、にこやかに、力強い言葉で門出を祝した。

卒業生総代の二宮明さんは「昭和から平成に変わり、中東湾岸戦争では命の貴さをかみしめるなど、学生生活の多くの思い出とともに、深く心に残っている。これからの人生では前向きに対処し、二十一世紀に向けて歩みたい」と、はっきりとした口調で答辞を述べた。

前日までの雨がきれいに上がり、女子の卒業生たちの振り袖や袴姿が、ひときわ目立ち、スーツ姿の男子学生が脇役におしやられる感じがするほど。式場前では在校生の各クラブ員たちがずらりと待機、卒業生に紙吹雪を降らせ、花束を渡したり、胴上げするシーンも。また正門前や図書館の階段付近では、記念撮影や色紙に寄せ書きするなど、喜びと若さが、あちこちではちきれんばかりだった。

クラブ活動いま・昔

顧問教授の目

（18）

放送研究会

部員の増加で安定

田宮　武

私は現在、映画研究部、児童文化研究部と放送研究会という三つのクラブの顧問になっているが、顧問になってからの期間、自分の専攻分野との関係、日ごろの部活動との接触程度からいっても、放送研究会との結びつきが一番深い。

放送研究会は応援団、新聞会、雄弁会と同じように「単独パート」という位置づけになっているが、放送研究会の顧問は伝統的にかつての文学部新聞学科、のちに社会学部マスコミ専攻の教員がつとめるようになっているようだ。

私は顧問になってから、もう二十年近くになるのではないか。

その時のいきさつを思い起こしてみると、前任の顧問から「自分は辞めたいので後を引き受けてほしい」と頼まれたからという、単純な話なのだが、当時、大学生の異議申し立ての学生運動の真っただなかの頃で、前任の顧問が夏休みの合宿に参加したところ、大学当局の姿勢について大学の代表者としての答弁をきびしく求められるハメになって、そんな責任は負えないから辞めたいという深刻な事情もあった。

そんな事情で顧問を引き受けた最初の年は、たしか志賀高原で夏季合宿を持ったので、一週間ほど行動をともにした。顧問が放送研究会の夏期合宿に必ず参加する理由は、国鉄の運賃が団体割引になるからという金銭上の理由と、顧問が部員に講演する行事があるからという教育上の理由からだった。

それから私はずっと夏期合宿に毎回参加しては、マスコミ論とか放送論に関する講演を行っているが、おっかなびっくりという感じで参加した最初の合宿では、放送の自由と自主規制というテーマでしゃべった記憶がある。権力を恐れずに報道し、論評を加えるために放送の自由を行使すべきだという主旨だったのではないかと思う。

そんなことで、夏期合宿の思い出は多い。十数年前から七年間ほど、小学生だった次男を連れて参加したこと、この数年間レクリエーションの一環として野球試合をするのだが、私に始球式のまねごとをさせてくれること、合宿中、部員には会議のスケジュールがびっしり詰まっているが、私は講演のほかは暇なので、宿泊先の周りを散歩したりサイクリングをしたりで、風景を楽しんでいることなど。

十年ほど前、放送研究会の部員が大幅に減ってしまい、夏期合宿の参加者も私と私の次男を含めてやっと十五人に達するか達しない状態で団体割引を受けるという時期もあったが、その後は、部員数も増加し、顧問としては一安心という状態である。二十年たっても、大学当局にたいする異議申し立て、学生にたいする問題提起のメディアとしての性格は健在だが、もう少し多様な問題を取りあげて、もっと放送回数を増やすようにがんばってほしいと願っている。

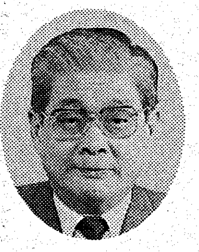
放送研究会では、毎年、五月中旬ごろ、新入部員の歓迎コンパを京都府山崎のお寺で行っているが、そこに参加してみると、勤務先からかけつけてくれる若い校友がいつも十名ほどいるのも心強い感じだ。

（社会学部教授）

バスケットボール部

栄光の再来を期待

野崎　治男



バスケットボールは一八九一年（明治二四年）にアメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールドのYMCA体育学校の指導員J・ネースミスによって創案され、YMCAを通じて急速に世界的に普及していった競技であり、わが国でも大正三年（一九一四年）に東京YMCA主事として来日したF・H・ブラウンの指導を通じて急激に普及した。本学では昭和四年（一九二九年）にこのブラウンに師事した松葉徳三郎氏を発起人・監督としてバスケットボール部が創設されて現在に至っており、創部以来六三年に及ぶ歴史をもっている。

創部当初は幾多の困難があったが、それを乗り切り、昭和五年には慶応義塾大学との定期戦を発足させ、七年一二年には早くも興隆期を迎えて、大きく発展しようとしたその矢先に、戦争時代への突入によって部活動の中断をよぎなくされたのであった。しかし戦後いち早く学生とOBとが協力して部の再建に努力し昭和二四年には関西学生リーグ初優勝、第一回全日本学生選手権大会第三位を皮切りとして、二六、二七年に第一期黄金時代を迎え、ついで三六年の第二期黄金時代を経て、四三、四四年には第三期黄金時代を開花させた。こうして戦後再建から二〇年の間に、通算して関西学生リーグ優勝六回、西日本学生選手権優勝五回などの輝かしい戦績をあげ、関西バスケットボール界の名門校として栄光の歴史を築いていったのであった。

しかし、四三年を頂点とする大学紛争とスポーツ推薦入学制度の廃止は、部の戦力を大きく低下させることになった。四八年にはついに二部への降格を止むなくされ、五三年に創部六〇周年を飾って一部復帰を果たしたものの、五五年には再び二部に降格し、その後何度か一部昇格のチャンスがあったにもかかわらず、そのいずれをも取り逃して、二部に低迷したままで現在に至っている。

ところで、どのスポーツ競技でも、多かれ少なかれ、厳しい練磨の中で培われた不屈の精神力、強靭な肉体、すぐれた技能、そして団体競技の場合にはゆたかなチーム・ワークを必要とするが、このことはとりわけバスケットボールにあてはまる。もともとこの競技の創案者ネースミスはその創案に当たってアメリカン・フットボールの室内競技化をめざし、激しい運動量とスピードとスリルを採り入れ、普遍性をもちながらも熟達するには相当の体力と技能と努力を必要とするものを念頭に置いていたといわれている。この点からいって、最近の学生が正規の運動部よりも同好会形式でのスポーツを好み、また高校時代の「熟達」した優秀な選手が関大入試の難関化にともなって入部困難となるなどの事情によって、昨今の戦力の低迷化をよぎなくされていることは否定しえない。

とはいえ、この低迷を止むなしとして現状に甘んずることは許されない。大学運動部のスポーツは単なる遊びではない。そのときどきの能力レベルを上廻る目標に挑戦し、不断の練磨と陶冶を通じて獲得された精神力、体力、技能の粋を尽して優劣を競い、この目標レベルを越え出て、不断に新たに設定される目標に挑戦していく所にその真髄がある以上、現在の諸条件の下で、各人がそれぞれに工夫をこらし、努力を重ね、そしてチームとしてのきびしい練習を積み重ねることを通じて、精神力を陶冶し、体力を鍛練し、技能を練磨することによって、一歩一歩戦力を向上させ、当面の挑戦目標を不断に高めていくことが肝要であると思われる。

関西大学の校章は大阪を貫流する淀川の流れに根強く生い繁る葦の葉を象徴しているといわれている。風雪に耐え、枯れても根は強く生き残り、やがて再び葉を生い繁らせるこの淀川の葦の葉のごとく、OB・関係者各位の変わらぬご指導、ご支援の下で、現役諸君の一層の努力を通じて、栄光の伝統を再び甦えらせることを切に願い、またそのために顧問として微力ながら尽力致している次第である。

（社会学部教授）

学位記変更

平成三年度から本学学部卒業証書の表記が変わった。内容はまず「卒業証書・学位記」とあり、「△学部×学科□専攻所定の課程を修めたことを認める」に続いて「本学△学部長の認定により卒業したことを認め学士（△）の学位を授与する」となる。

また「修士」は、「学位記」の次に「関西大学大学院△学研究科×課程において□を専攻し所定の単位を修得しかつ学位論文の審査及び最終試験に合格したものであることを証明する」とあって、最後に「右大学院部長の証明を認めて茲に修士（△）の学位を授与する」。さらに「博士」の場合は、最後の部分が「博士（△）の学位を授与する」になる。

名残惜しみ歓談

博修士会　謝恩・祝賀会

三月二十三日、関西大学百周年記念会館で平成三年度修士記および博士課程後期課程単位修得証書授与式が行われ、新修士二六六人と博士課程後期課程単位修得者三十一人が巣立った。授与式終了後、関西大学会館四階大集会室で博修士会主催の謝恩・祝賀会が多数の来賓の出席の下に開催された。

網本浩幸事業副部長の司会で東元治事業部長の開会の辞、津川正幸会長の挨拶、大西昭男学長から「これからは益々異業種交流が重要になるので、今後同じ志をもって学んだ仲間が博修士会などの集まりに参加し、大学院で培った研究心を持ち続けることを心がけて下さい」とのはなむけの言葉に続き、稲野治兵衛理事長と植垣幸雄校友会長の祝辞があった。

続いて、辻岡美延大学院部長の乾杯の音頭で懇談に移った。宴たけなわとなり、この三月に定年退職して名誉教授となられる橋本真、横川親雄両教授より、関西大学での思い出話と修了生への励ましの言葉があり、それに応えて盛大な拍手が送られ、会場は終始和やかな雰囲気が漂っていた。各研究科の修了生の中から、片原恵美子さん、小高恵さん、齋藤浩司さんらの謝辞があった。社会人単位修得者の畑中公太郎さんの発案で、恩師への感謝の意を込めて、「仰げば尊し」を全員で合唱。最後に、修了生を代表して杉本祐一さんの謝辞があり、全員円陣を組んで逍遥歌を合唱、上田達三会長代理の閉会の辞で幕を閉じた。

（木村　記）

高齢者叙勲で原谷さん瑞五

原谷為一さん（昭2大法）は、平成三年十一月、満八十八歳を迎え、同年十二月十六日、高齢者叙勲で勲五等瑞宝章を受章した。

校友短信

◆石古氏が会誌「歴史探訪」の原稿を募集

近畿史跡美術研究会誌「歴史探訪」の編集長をしている石古繁信さん（昭24専二国）は「近畿一円の史跡文化財の探訪記録文・写真などを四百字詰原稿用紙五枚以内で、返信用切手七十二円五枚を同封して申し込みを」と呼びかけている。採用分は会誌五冊を贈呈。送り先は〒五七二 寝屋川市成田西町五の一一 同会編集部。締切は毎月末、原稿は返却しない。

◆尾上氏が伊勢丹相模原店の取締役店長に

同新宿店営業統括部長などを歴任した尾上達矢さん（昭40学一英）が、取締役相模原店長に、このほど就任した。

◆京都警察病院次長に樽林氏

樽林經二氏（30学一法）は京都府五条警察署長を勇退、四月一日付で京都警察病院次長に着任した。

◆渡辺氏が民事行政部長に

渡辺玉五知氏（昭38学二法）は、このほど大阪法務局民事行政部長に着任した。

計算機研究室

優秀賞受ける

第八回ソフトウエアコンファレンス（大阪市、大阪科学技術センター主催）が、三月十三日、大阪市西区の大阪科学技術センターで開かれ、「地形図からの等高線の抽出」のテーマで、関西大学工学部電子工学科計算機研究室の次の四氏が発表、優秀賞を受賞した。

和田将樹（四年）、小田悟朗（博士課程前期課程一年）、村中徳明（専任講師）、今西茂（教授）

球春開幕

連続Vめざし

25日に関関戦

昨年、十九年ぶりに関西学生野球で春季優勝した本学野球部は、春の連続Vを目ざして、まず京大に連勝。四月二十五、二十六日の土、日曜日（いずれも午後一時）には阪急西宮スタジアムで関西学院大と対戦する。

昨春は、三十年ぶりに同スタジアムで関関戦が実施され、大応援を背に関学を連破、勢いに乗って近畿大と優勝決定戦の末、栄冠を手にした。

関大人事

（4月1日付）

【教育職員主な役職異動】

教学部長＝石川啓・社会学部教授▽大学院部長＝辻岡美延・社会学部教授▽入学試験部長＝竹本正幸・法学部教授▽東西学術研究所長＝大庭脩・文学部教授▽工業技術研究所長＝杉原清・工学部教授▽教職課程研究センター所長＝右島洋介・文学部教授▽教学部長代理＝井上昭一・商学部教授

【教育職員新任】

社会学部　教授＝高木教典、矢野秀利▽助教授＝片桐新自、辻光宏▽専任講師＝杉野昭博、森田雅也

工学部　教授＝手塚慶一、山下一美、山田秀明、山田稔▽助教授＝豊福俊英▽助手＝青田浩幸、林順一

文学部　助教授＝石坂恒、新谷英治、中谷伸生▽専任講師＝雑古哲夫、吹田浩

経済学部　助教授＝樫原正澄▽専任講師＝辻賢二、松尾精彦

【教育職員昇任】

文学部　教授＝宇佐見太市、内田慶市、奥純、紙谷榮治、柴山了一▽助教授＝柏木治

商学部　教授＝岩佐代市

社会学部　教授＝多喜弘次▽助教授＝石元清英、大石裕

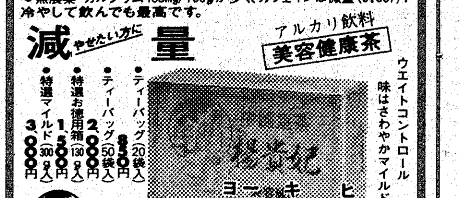
工学部　教授＝矢木秀治▽助教授＝久富康義、田村裕、近下秀範▽専任講師＝池田勝彦、市井一男、近藤喜之、西山豊、星加洋、前田裕、見市晃、吉村勲

経済学部　助教授＝良永康平

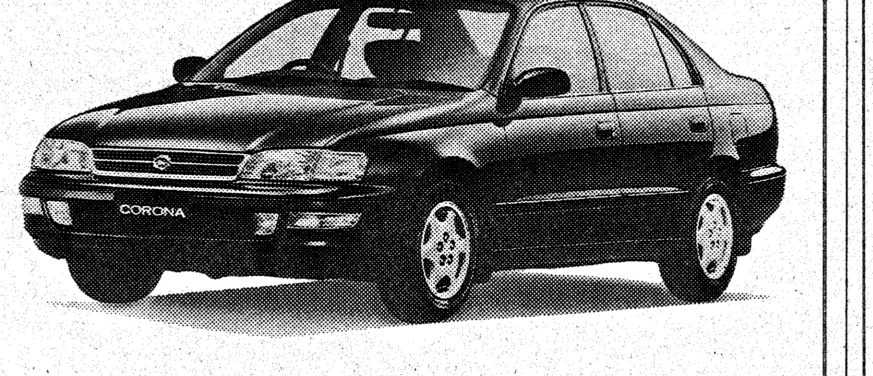
【事務職員異動】

理事長付＝辻見重行、中山義一、福田秀直▽企画室長＝北村博▽総務局長＝工藤五郎▽財務局長＝石原壮▽大学事務局長＝北田清士▽総務局次長兼一高事務長事務取扱兼一中事務長事務取扱兼幼稚園事務長事務取扱＝斎藤博▽管財局次長兼管財局施設課長事務取扱＝霜上健祐▽入学試験部次長＝石田健一▽企画室企画課長＝吉原稔▽同広報課長＝岩村護▽同新学部設置事務長＝石山博康▽総務局総務課長＝池内啓三▽同第二総務課長兼図書館天六分館事務長＝杉田晏崇▽同人事課長＝増地英一▽管財局局付課長＝阪口辰夫、美崎良史▽同管財課長＝林邦生▽大学事務局局付課長＝宇貞登▽同庶務課長＝黒岩美智男▽同学務課長＝達摩省一▽文学部事務長＝浅尾勇▽経済学部事務長＝谷村紘▽社会学部事務長＝吉村亮二▽第二部学部事務長＝浜口仁一▽大学院事務長＝竹崎明夫▽学生部第二学生課長＝山田賢一▽同厚生課長＝田中祥浩▽情報処理センター事務長＝田代淳二▽保健管理センター事務長＝西野晶幸▽法学研究所事務長＝大和稠

関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型薯蕷(上用)謹製
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3―13―28
電話 (06) 641―1666(代)
FAX (06) 647―6478
髙島屋大阪店地階東館 和菓子売場内
髙島屋大阪店7F・大阪梅田阪急百貨店8F
各ブライダルサロン
大阪府内・神戸市内、有名ホテル・結婚式場
代表取締役 山本 俊雄（千寿会会員）
常務取締役 山本 雅巳（S53学1法卒）


＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減 やせたい方に 量
アルカリ飲料 美容健康茶
ウエイトコントロール 味はさわやかマイルド
●ティーバッグ(20袋入)850円
●ティーバッグ(50袋入)2,000円
●特選お徳用箱(130g入)1,500円
●特選マイルド(300g入)3,000円
中國皇茶 楊貴妃 ヨーキヒ
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元 株式会社タムラ　試供品請求券 K係
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

ダイヤモンドのことなら……
75年の信頼
心斎橋の輝く宝石"ツルヤ"で
お選び下さい
時計 宝石 眼鏡
心斎橋 ツルヤ
(06)211―1024


新型コロナ誕生
コンセプトは、美しさと
高い機能性の両立をめざした
【コンフォート・デザイニング】
です。
PHOTO
コロナ4ドアセダン 1800 EXサルーン（E-ST190-AEMEK）
オプション装着車 '92.2
セルシオ・ソアラ・マークII・エクシヴ・コロナ・コルサ
神戸トヨペット
TOYOTA
本社・神戸市兵庫区水木通2丁目1-1 ☎078-576-5001㈹

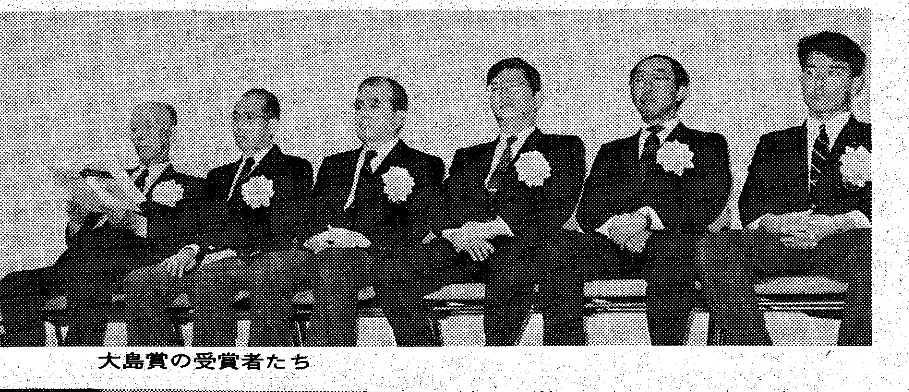
就職あっせん
決断するは今！転職・就職の好機。
多数の企業があなたを求めています
●各職種求人多数あり
経営管理者(営業・総務・経理など)・科学技術者(電気・機械など)
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●年令は問いません
★まずお電話ください。(歴送・ご来社も可)詳細お打ち合わせします。
求人も常時受け付けております。
㈱タナベ経営 経営管理者・科学技術者紹介所（愛称 エリートバンク）
〈営業時間〉
平日 19:00まで
土・日 15:00まで
（但し第1、第3日曜及び祝日は休み）
労働大臣許可 No.27・コサ・4
〒564 大阪・吹田市江の木町17-10(タナベ経営ビル)
☎06(338)3447

盛大に大島鎌吉スポーツ文化賞贈呈式

惜しみなく栄誉称賛

昔日のエピソードも披露

一九九一年度大島鎌吉スポーツ文化賞の贈呈式が、三月十四日午後三時から関西大学一〇〇周年記念会館で約二百五十人が出席して開かれた。今回、関西大学スポーツ文化賞（ホップ賞）は関西大学野球部、関西学生スポーツ文化賞（ステップ賞）は古川明・関西学生アメリカンフットボール連盟専務理事、日本スポーツ文化賞（ジャンプ賞）はマラソン指導者の宗茂・宗猛両氏、国際スポーツ文化賞（トリプル賞）は清川正二・元IOC副会長が、それぞれ受賞した。


大島賞の受賞者たち

花束を贈られる清川氏

式の冒頭、関西大学体育OB会一五八二人＋α委員会会長の稲野理事長が「大島氏は、毎日新聞時代、運動部と社会部で同じ釜のメシを食った仲間。ベルリンオリンピックの特派員として立派に職責をはたされ、政治部記者としても活躍するという珍しい記者で、強い信念を持った人だった」と、エピソードをまじえながら挨拶した。

選考委員長の大西学長から「清川さんはじめ、受賞者のみなさんを、満場一致で決めることが出来たのは大変名誉なことです」と、選考委員を代表して喜びの言葉を述べた。

バルセロナへ下見に出かけている宗猛氏、びわ湖毎日マラソンを直前にして多忙の宗茂氏の姿は見られなかったが、清川氏が受賞者を代表して「栄誉に恥じないよう今後も業績を伸ばしていくことを誓わせていただきたい」とお礼の挨拶をし、続けて「昭和七年から十一年ごろが大島さんの絶頂期で、私も水泳選手として同じ時期が絶好調だった。ベルリンオリンピックは、大島さんが陸上のキャプテン、私は水泳のキャプテンで、入場式は大島さんが旗手、私は副手として並んで行進した。二人とも、志した目的は一つ、オリンピック理念の高揚だった」と昔を振り返った。

関西大学体育OB会会長の北尾郁之介副会長が閉会の挨拶をした後、祝賀会に移り、受賞者を囲んで、話がはずみ、あちこちでスポーツ談義の輪が出来た。

大西選考委員長以外の選考委員は次のみなさん。（五十音順）

大西正文・大阪体育協会会長、大阪ガス会長▽片倉道夫・大阪レクリエーション協会常任理事、元NHKチーフ・ディレクター▽釜本文男・関東学生陸上競技連盟会長▽北尾郁之介・関西大学体育OB会会長▽北出清五郎・文部省スポーツ振興特別委員会委員、元NHKチーフ・アナウンサー▽笹原正三・JOC理事、メルボルン五輪レスリング金メダリスト▽中島直矢・大阪体育大学名誉教授、元毎日新聞運動部長▽中塚昌胤・大阪21世紀協会理事長▽南部忠平・大阪スポーツマンクラブ会長、ロスアンゼルス五輪三段跳び金メダリスト▽牧野文雄・大阪社会体育研究所会長▽松井清・関西大学体育OB会顧問▽米田満・関西学院大学教授

大阪文化論 その23

大阪と水の文化《①》

商学部教授　亀井利明

大阪のウオーターフロント

「ウワー　すごい」

ねずみ色に白い斑点のついた巨大なサメがぐんぐんと近づき、小さいが狂暴な目付で人をにらめつけている。誰れしもジンベザメの巨体が目の前に現われたら息を呑むに相違いない。

天保山ハーバービレッジの目玉である海遊館の大水槽に体長三―四㍍ばかりのジンベザメの子供が二匹も泳いでいるのである。

三月八日に松山沖で潜水員がサメに襲われて行方不明となり、時ならぬ「ジョーズ騒動」が起きているため、水族館のサメを見た人はその凶暴性を連想するに相違ない。

松山沖に現われたのはホオジロザメらしく体調八―一〇㍍ぐらいで、人間を襲うサメの中では一番凶暴だとのことである。海遊館のジンベザメはこれよりももっと大型で、体長一八㍍に達するものもあるという。

安治川河口に位置する天保山は大阪の海の玄関であるが、その周辺地は必ずしも海の文化や水の文化が定着していなかった。しかし、ここ数年来の大阪ウオーターフロントの開発で新しい海の文化や水際の文化が生まれ、トレンディな風が吹いている。

東の葛西臨海水族館、西の海遊館は日本の水族館の雄である。水槽の中に海の自然を再現し、魚族と人間とを一体化しようとする試みは正しく水の文化の一種である。海遊館は環太平洋の海を各地域ごとにその自然をイメージし、海の神秘や海の生命力を表現し、従来の水族館の規模や概念をはるかに超えている。

天保山埠頭には今も淡路や四国航路の高速艇が発着するほか、外国の大型客船も入出港し、国際観光客船の専用ターミナルとして整備されている。

大阪港は天保山埠頭のほか、コンテナ埠頭、重量物埠頭、ライナー埠頭等があり、それは更に南港の各種埠頭に及び、多くの人、物、文化を運んでいる。貿易港としては大阪港は神戸や横浜ほどではないが、それでも日本の貿易額のうち、輸出二一・七％、輸入一八・七％を占めている（平成二年）。

歴史的に見て大阪の水際は常に新しい文化のゲートであった。海からの外国文化、淀川からの京都・江戸文化の流入は大阪に独特の文化をはぐくんだ。

今また大阪はウオーターフロント文化の形成で、かつてない新鮮さと独自性が世の注目を浴びている。その一つはワールド・ショッピング・ゾーンと呼ばれる天保山マーケットプレースに見られる。これは海遊館の北側の海に向かって建つ白い三階建の建物で、若者向きに作られている。ここはフェスティバル・マーケットという新しいタイプの立体ショッピング・モールである。

国際色豊かなファーストフード・ショップ、レストラン、雑貨店、ファッション店等、ショッピングや飲食を楽しめる。いずれも個性的で、ウオーターフロントを満喫できる。

たとえば、ショッピングの方では一階にコグナ、ガウディ、ノーチカ、メルボルン・ハウスなどが出店している。メルボルン・ハウスでは有名なケン・ドーンが無造作に並べられている。

また、二階にはベント・デルマーレ、バードキングダム、キング・ポストなどが出店している。キング・ポストは各種の海洋雑貨を取り扱った斬新な店で若者に人気がある。

天保山マーケットプレースを散策していると異国情緒と若者のフレッシュなエネルギーが交錯した一種独特のムードを感じる。これが大阪の一つの新しい文化なのかも知れない。

しかし、ここはどことなく、ハワイのホノルルのアラモアナ・ショッピングセンターに似たところがある。もちろん、規模において比較にはならないが、そんな気がする。

ホノルルといえばハーバークルーズを思い出すが、こちらにも各種のクルーズがある。その一つがサンタ・マリア号によるベイ・クルーズである。

このクルーズはデイクルーズとナイトクルーズによってコースが違うが、どちらも港大橋を通過する。この橋は鮮やかな朱色が映える阪神高速湾岸線の専用橋である。

サンタ・マリア号のクルーズはコロンブス時代をほうふつさせる帆船で（実際にはその二倍の大きさ）、河口港である大阪港の一部を航行しそのウオーターフロントの新しい息吹きを感じさせる。

観光帆船サンタ・マリア号にはコロンブスに関する資料や当時の様子を物語る品々が展示されている。また、スペイン直輸入の民芸品や船用品等を取り扱うコーナーが設けられている。ここではまた本場のフラメンコが踊られている。

大阪のウオーターフロントは今後、大阪湾に浮ぶ海上都市として発展し、新しい水の都へと脱皮していくことだろう。それは海を埋め立てた人工島の造成となり、国際ビジネス都市、スポーツ・パラダイス、高層住宅、自然公園などの出現を意味するのであろう。

サンタ・マリア号前の筆者（天保山・海遊館北側乗船場で）

亀井教授のプロフィール

昭和三十三年神戸大学大学院博士課程を修了、同四十三年本学教授に。商学部長、大学院商学研究科長、広報委員長、入試実行委員長、国際交流委員長などを歴任。四十四年欧米に留学、主としてペンシルベニア大学で研究。毎年国際学会や講演で欧米・アジア諸国を歴訪、なかなかの外国通。労作「海上保険証券免責条項論」で各務記念賞を受賞、その他多くの著書、論文がある。日本保険学会理事、日本リスクマネジメント学会会長、大阪市国民健康保険運営協議会会長。昭和五年、兵庫県生まれ。

北から南から

支部長に野村氏

平野区支部総会

平野区支部は二月二十八日午後六時から割烹「しば天」で、平成四年の総会を開き、校友十五人が参加、日野上事務局長の司会で進められた。

矢下支部長の挨拶のあと、役員を改選、新支部長に野村静男氏（31英）を選んだ。任期は二年と決めた。また支部財政を支えようと出席者全員が寄付に協力した。さらに「年二回以上の会合を」の要望が出て全員が賛同した。

懇親会に移り、一同、大いに飲み、食べ、歌って九時過ぎ、今後の活動の充実発展を約して閉会した。

その他の役員は次の各氏。

副支部長＝椿本久夫（39商）、菅生英樹（41工）▽副支部長兼事務局長＝日野上輝夫（43院修商）▽代表幹事＝小谷俊雄（42経）

（日野上　記）

稲野理事長就任に祝意

政治学会第8回総会

関西大学政治学会（篠原昭三会長＝29院修公）の第八回総会は、三月七日午後二時から大阪府立労働センターで開催。当会顧問の稲野治兵衛先生の母校理事長への就任を祝賀し、会員四十人が交歓を深めた。

当日は、来賓として稲野理事長、上林、沢田両法学部教授、金田校友会事務局長を迎え、午後二時に開会。篠原会長からは、昨年十一月十日に挙行した「岩崎卯一先生生誕一〇〇年記念祭」に際して、その推進母体たる役割を果した当政治学会の活躍を犒い、記念祭の成功を共に歓びたい旨の挨拶にはじまり、今後の会の運営への協力の要請があった。

引続いて、稲野顧問に対する法人理事長就任を祝して記念品を贈呈のあと、芳村幹事長から会務を、島村会計監事から会計を、三木常任幹事から趣味別アンケートの回答をもとに、同好の会第一号としてゴルフ同好会の発足を提案するなど議案の審議を交え、河合会計監事の監査報告等を経て議事を終了。会務報告では役員一覧も添付され、会務を執行するメンバーを次の各氏とした。（数字は卒業年）

【顧問】稲野治兵衛（16）、原英次（25）、上林良一（27）芦田定男（18）【参与】伊藤六祐（17）【会長】篠原昭三（25）【副会長】田端昭雄（25）、藤井昭三（25）、東山利雄（25）、和田一成（26）【幹事長】芳村公義（38）【副幹事長】模剛太郎（47）足高将司（49）【会計監事】島村正三（46）、捧堅二（53博）【会計監査】宮本修（27）、河合光熙（28）【常任幹事】野崎敏夫（26）、羽間平安（27）、三木憲三（28）、麻生川章（29）、南伊紀子（37）

続いて第二部に入り、「岩崎卯一先生生誕百年祭記録ビデオ」を上映。記念祭当日の盛況を三十分に編集したビデオを楽しんだ。（領価二千円で希望者に領布）

懇親会は、東京からトンボ返りでかけつけた熱心な校友らで盛り上がり、歓を尽くし午後五時散会。（芳村　記）

尼崎支部が団体優勝

阪神地区対抗ゴルフ

阪神地区対抗ゴルフコンペが四月一日、愛宕原ゴルフクラブであり、十一支部から五十二人が参加、にぎやかに〝熱戦〟を展開、尼崎支部が団体優勝した。二位に川西支部、三位は箕面支部だった。

個人戦は、愛宕原の元クラブチャンピオンの貫録で、橋本治三さん（尼崎）が多田将美さん（箕面）を抑えて優勝した。三位は中田俊和さん（尼崎）。

次回は秋に尼崎支部主催で開催、また吹田、高槻、茨木の三支部にも参加を呼びかけることになった。（小川　記）

高松塚古墳発掘20周年

記録再現と学術講演会

満員の会場に熱気

「高松塚壁画古墳発掘20周年記念―記録再現と学術講演会の一日―」が、三月十五日午前十時から関西大学一〇〇周年記念会館で開かれた。映画とビデオで記録を再現、五百人を超える満員の会場は、極彩色の壁画発掘の瞬間をいま一度確かめようと、くい入るように見つめる人々の熱気であふれた。

主催は関西大学考古学等資料室と同事業局。午前中は、実際に発掘にかかわった奈良県立橿原考古学研究所勤務の亀田博さんら当時学生で、現在、各地の教育委員会などで活躍されている七人の〝体験者〟が網干善教文学部教授の司会で座談会「あの時私は…」と、当時の模様をまるで昨日の出来ごとのように、ありありと再現、一時間にわたって話し合った。

午後からは、映画などが上映されたあと、有坂隆道・関西大学名誉教授と網干教授による講演を聴いた。近畿はもとより、東京から駆けつけた考古学ファンもいて、「来てよかった」と目を輝かせながら熱心にメモをとる姿もみられた。

神屋敷氏ダイヤ婚

元気な神屋敷氏ご夫妻

校友会参与の神屋敷民蔵さん（八六）とアヤ夫人（八七）が、四月三日、非常に珍しいダイヤモンド婚を迎えられた。お二人とも、すこぶる健康で、明治、大正、昭和、平成と、年月を重ね、とりわけ激動の昭和期を力を合わせて生き抜いてきただけに感慨もひとしお。

関西大学在学中の大島鎌吉氏がロサンゼルス五輪三段跳で銅メダルを獲得した昭和七年に二人は結ばれた。神屋敷さんは、専門部国語漢文専攻科（福島学舎）を卒業、そのまま職員になり、聴講生として専門部文学科を修了したアヤさん（故久井忠雄前理事長と小学校の同級生）と、ゴールインした。

アヤさんは女子校友の草分けともいえる存在で、「聴講生時代、小柄な女性がいるな」と、しっかりその存在をとらえていた民蔵青年だった。第二次世界大戦と戦後の苦労はもちろん機関紙「関大」の創刊時代、激務と極度の心労が重なり、約一年、重病で倒れた時も、いつもアヤ夫人の献身があった。

長寿の時代とはいえ、夫婦ともに健康で結婚六十年を迎えることは希有なことで、「まだまだ頑張れそうです」と、控えめながら自信あふれる神屋敷さんの口調に、お二人を知る人たちから温かい拍手がおくられている。

二部空手道部

40周年記念の総会と祝賀会

平成三年、二部空手道部が創部四十周年を迎え拳誠会は、一月三十日、月華殿（寺田町）で創部四十周年記念総会・祝賀会を開いた。総会終了後、石川啓・同部顧問教授、山村嘉己学生部長代理ら多数の来賓を迎え、総勢百二十人が出席して、まず学歌斉唱、祝賀会がスタートした。

拳誠会第六代会長、森恵三氏の今後の発展を祈念する力強い挨拶に続き、石川、山村両教授、関大空手道部OB会入江一美会長、関大スポーツマンクラブ清水寛史会長代行から励ましの言葉をいただいた。

さらに功労者として、石川教授、村林隆夫、山本勝夫、星野誠次の歴代拳誠会会長、平井功一、星野誠次歴代師範に森会長から感謝状が贈られた。

小坂光則・スポーツマンクラブ顧問の発声で乾杯、祝宴に移った。それぞれ旧交を温め、宴もたけなわ、応援団長柄会のリーダーで、百二十人の大円陣を組んで逍遥歌を合唱。原本誠人拳誠会顧問のリードで万歳三唱し、名残り惜しみながら散会した。（真鍋　記）

盛会だった二部空手道部の祝賀会

新刊紹介

書名・著編者・出版社・定価の順

「情熱は世界を駆ける」
―自転車野郎の冒険記―

古谷彰史（57学一商、テレビ新広島報道部勤務）著、関西美術社製本・一、六〇〇円

著者は一九八二年商学部の卒業生で、現在[illegible]の気鋭の報道部[illegible]躍中である。学[illegible]私が顧問をして[illegible]に所属していた[illegible]三年の十二月、[illegible]らこの著書が送[illegible]早速手にして[illegible]と、まさに青春の自転車野郎世界を駆けめぐる冒険記で、一気に時のたつのも忘れて読みおえてしまった。

古谷君の自転車旅行は高校一年の時、博多から熊本までの二二〇㌔の走破から始まった。その後関西大学に進学して自転車部に所属するに至って、彼の人生は自転車をパートナーとした人生への冒険的挑戦であった。彼の言葉を借りていえば、山を越え、野を[illegible]海外自転車旅行にでた。

シアトルを起点にバンクーバー→バンフ→ジャスパー→エドモントへ。その後南下してポートランド、サンフランシスコ、ロスアンジェルス、サンディゴ、さらに南下してメキシコのティファナまで三五〇〇㌔を二八日間で走破した記録を始めとして、遠泳三㌔、自転車一〇三・六㌔、マラソン四〇㌔の鉄人レースとよばれるトライアスロンへの何度[illegible]及ぶ挑戦、さらにはオーストラリアのケアンズからシドニーまで三、〇〇〇㌔走破、アフリカのキリマンジャロ自転車登頂、ドイツロマンチック街道走破、ブラジル・アマゾン紀行などが、人の出会い、[illegible]した事件や障害への挑戦を通じて実に生きいきと語られている。

春風の中を自転車で走りぬけていくさわやかさを与えてくれる冒険記であり、校友に是非一読をすすめたい。

＝廣田君美（社会学部教授）

祝前善治氏（いわいさき・ぜんじ＝18大政、元堺市立工業高校長）は、一月三日、病気のため死去。七十二歳。なお、正五位勲四等瑞宝章が贈られた。

藤井謙次氏（ふじい・けんじ＝29学一英、元大阪市立蒲生中学教諭）は、一月四日、病気で死去。五十九歳。

逵　嘉夫氏（つじ・よしお＝19大商、元堺市民生委員長）は、二月十四日、急性心不全のため死去。七十九歳。

山村鶴千代氏（やまむら・つるちよ＝14大商、元大宝[illegible]通社総務部長）は、三月十[illegible]呼吸不全のため死去。七十[illegible]

田端　寛氏（たばた・ひろし＝35学一商、元遠州織機勤務）は、三月十四日、肝硬変のため死去。五十三歳。

木村新吉氏（きむら・しんきち＝26工専、木村メリヤス㈱社長）は、三月二十二日、肝硬変のため死去。六十[illegible]歳。

神戸善一氏（かんべ・ぜんいち＝神戸善弘常議員・組織部副部長の父）は、三月二十五日、肺気しゅのため死去。八十七歳。

繁益正二氏（はんやく・まさじ＝校友会代議員、千里十二会会長）は、三月二十[illegible]日、脳卒中のため死去。七十九歳。

巽　茂徳氏（たつみ・しげのり＝32学一法、東洋テック常務）は、三月二十八日、急性心不全のため死去。五十七歳。

新子和郎氏（あたらし・かずお＝30学二法、校友会代議員、ニュー保険サービス代表者）は、三月三十一日、肝臓がんのため死去。六十一歳。

李鴻年氏（り・こうねん＝13専二経）は、二月二十五日、病気のため死去。八十一歳。

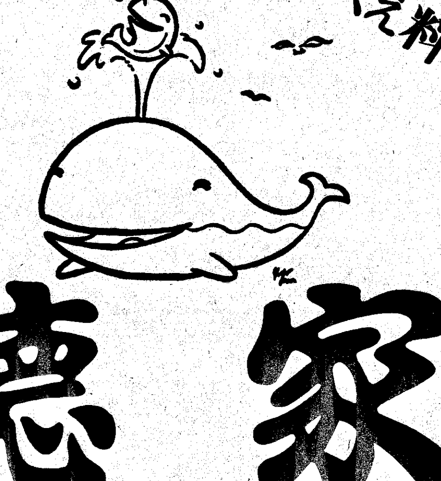
雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中！早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸 荒磯料理
◆高級和牛のふるさと 但馬牛料理
◆冬の味覚 かに料理（11月初～3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿 はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL.07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

おそばのおいしいお店、
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば
家族亭
関西店 阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/難波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/府道茨木警察北/高槻松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道171号西宮門戸陸橋西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランド/堺高島屋/D.Dハウス/阪急池田駅2F/守口京阪百貨店/角田町（ナビオ東）/新神戸店
東京店 有楽町/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子/川崎/日比谷
横浜店 ヨコハマルミネ　浦和店 伊勢丹
津田沼店 イトーヨーカドー　新潟店 伊勢丹
札幌店 丸井今井本店　浜松店 松菱
浜松メイワン店

活ふぐ
はもしゃぶ
よしだ
寿司・会席・お弁当
営業時間 12－2時／5－10時
（月曜日定休）
大阪市中央区千日前
1-6-6 法善寺前本通
Phone (06)211-8660
吉田　哲（昭58商卒）

先生が学ぶ英語教授法
S.I.T.大学院
日本にいながら米国留学
エドモンズ大学
総長 溝田弘利（関西大学30年卒業）
ワシントン州立 エドモンズ大学日本校
〒651-11 神戸市北区山田町小部字大脇山4-1（神戸弘陵学園高校北隣）
☎(078)631-0860(代)

●てっちり ●ハリハリ鍋 ●くえ料理



徳家
大阪市中央区千日前1丁目7-11 上方ビル2F
TEL.(06)211-4448